

園だより



平成 31 年 2 月 1 日

社会福祉法人 新田保育園

園長 野村陽子

『憧れが学ぶ意欲を育む』

冬本番となりましたが、新田保育園の子どもたちは北風にもインフルエンザにも負けず、元気に戸外で走り回っています。さて、明日はいよいよはるまつり本番です。土の中で春を待ち芽を出そうと生長する草花のように、子どもたちはこのはるまつりに向けての取り組み過程で、またひと回り大きくなりました。

大きくなるとは、どういうことでしょうか。身長や体重が増えたり、できなかったことができるようになったり目に見える成長もあれば、恥ずかしさや自信のなさや葛藤して乗り越えるような目に見えない成長もあります。目に見えない心の成長に必要な栄養とは何でしょうか。それは『憧れ』です。

新田保育園のはるまつりでは、年長クラスのぞう組が取り組む“ぶちあわせ太鼓”があります。運動会が終わってしばらくすると園内に聞こえてくる太鼓の音。秋も深まり冬になるにつれて、その音はどんどん大きくなっていきます。思わず覗いてみると、太鼓の音と太鼓を叩くぞう組の子どもたちの姿に惹き込まれていきます。すると始まるのです。“ぶちあわせ太鼓ごっこ”が。

ごっこ遊びの根本には『憧れ』があります。ままごとでお母さんになったり、バスごっこで運転手になったり。実際に見たり体験する中で“楽しそう”“面白そう”“やってみたいな”という気持ちが湧いてくることで、観察したり、思い出したり、真似をしてごっこ遊びになります。この“自分もこうなりたい”という憧れから、見る力、聞く力、やってみようとする力が育まれます。これこそが『学ぶ意欲』なのです。ぶちあわせ太鼓に取り組む姿に憧れを持ちながら大きくなっていく、新田保育園の子どもたち。ぞう組の子どもたちは憧れの存在になりきるため、どうしたらあの憧れてきた姿に近づけるか、子どもたち同士力を合わせてまだまだ大きくなろうとしています。はるまつりは、当日の出来栄だけでなく、取り組み過程で育まれる『学ぶ意欲』を大切に行なっています。目には見えない内面の成長も含めて、大きくなった子どもたちの姿を、一緒に喜び合いましょう。 (文責：齊藤千鶴子)



2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
	はるまつり					誕生会							新入園児面接・説明会	りんご組懇談会	ことり組懇談会			避難訓練			健康体育 健診(0・1歳児)	鳥倉先生と音楽を楽しむ会 ひよこ組懇談会	りす組懇談会				ぞう組観劇会	卒園式練習